

資料・統計

2004年悪性疾患入院患者統計

Statistics of Inpatients with Malignancy in 2004

新潟県立がんセンター新潟病院
情報調査部 病歴室

2004年の悪性疾患入院患者統計について報告する。

悪性疾患入院患者の基礎資料 (表1)

悪性疾患登録の新規登録疾患数は2,846 (前年2,476) と370件 (14.9%) 増加した。これは平均在院日数短縮 (16.4日から14.5日) に伴い、退院患者実数が11,581 (前年10,594) と増加したことに加え、悪性新生物患者の割合が66.3% (前年62.3%) と高くなったことによる結果と思われる。

悪性新生物疾患別数の推移 (表2)

悪性新生物の新規登録患者数を部位別にみると、胃 (-16)・咽頭 (-7)・骨及び軟部組織 (-8)・脳 (-5) を除く全ての部位で増加しており、特に食道 (+36)・大腸 (+42)・肺 (+66)・皮膚 (+35)・婦人科領域 (+68)・造血器 (+39) での増加が顕著であった。

全疾患に占める悪性新生物比率の推移 (表3)

全疾患に占める悪性疾患の割合は、入院患者実数上で66.3% (前年62.3%) と、最近の増加傾向がますます顕著になってきている。さらに入院患者延べ数上でのがん患者比率は81.6% (前年78.3%)、実際の病床利用上での比率 (がん専門病床割合) では83.6% であり、実際に入院している患者でみれば、がん患者の割合は既に8割を超えている。当院は総合病院併設型のがんセンターと位置づけられているが、近年急速にがん専門診療施設に特化しつつあると言える。

診療科別入院患者悪性疾患比率 (表4)

整形外科と脳神経外科を除く全ての診療科において入院患者延べ数上での悪性疾患患者の比率が上昇しており、全体で81.6%であった。特に小児科・外科・呼吸器外科・放射線科では90%を超えており、内科も81.5%と初めて80%以上となった。死亡患者数は総数

478 (前年472)、悪性448 (同429) であり、93.7%が悪性患者であった。剖検数は22件 (同23) で、剖検率は4.6%であった。

診療科別・在院期間別・性別退院患者数 (表5)
および病類別・在院日数別患者数 (表6)

性別退院患者総数では男性5,098 (前年4,720)、女性6,483 (同5,874) とともに増加していたが、前年と同様に女性の増加が実数・比率ともに男性を上回り、女性56.0%、男性44.0%となった。乳がん患者及び婦人科がん患者の増加傾向がその原因と思われる。

平均在院日数は全体で14.5日 (前年16.4日) とますます短縮されてきており、良性疾患14.0日 (前年15.3日)、悪性疾患15.0日 (同16.7日) とともに短縮されていた。これにはクリニカルパスの浸透が大きく影響していると思われる。

2004年の追跡調査

近年の悪性疾患登録数の著増に伴い、43年間の登録総数は46,650例に達し、登録後20年未満の追跡調査対象患者数は31,014例となった。このうち1年以内の当院外来受診歴のない4,761例に対しては郵送による直接照会を行い、回答が得られなかった1,150例に対してはさらに市町村 (県内32、県外42) に戸籍照会を依頼している。昨今の市町村合併に伴い、新潟市などの一部市町村に対象患者が集中したため回答が例年より遅れているが、全例消息判明の予定である。しかし2005年の個人情報保護法の制定や最近の患者のプライバシー意識の高まりなどにより、直接照会・戸籍照会ともに厳しい情勢で、回答が得られないケースや苦情が増えており、今後ホームページなどに予後追跡調査の意義や方法について掲示し理解を求めるとともに、戸籍照会に対する行政からのバックアップが望まれる。

国は死因の第1位であるがん対策を強化しつつあり、地域がん診療拠点病院の整備指針やがん対策基本法などにより、がん専門診療施設が整備すべき機

能を規定し、その一つとして全国同一基準による院内及び地域がん登録を義務付けている。当院でも2005年の悪性登録から新指針に沿った登録を開始しており、さらに2006年分からは外来患者分の悪性登録も

開始する予定である。新システムの導入に伴い業務量が増大し、現在多少の混乱が見られるが、数年内にはより有用な疫学データが提供できるよう、病歴室一同連日努力しているところである。

表1 2004年悪性疾患入(退)院患者統計

2004年の悪性疾患入院患者の基礎資料

- 1. 2004年の悪性疾患登録患者数(実数) 2,564
- 2. 2004年の悪性疾患登録疾患数 2,846
 - 内訳：本年初登録で単疾患 2,357例, 2,357疾患
 - 本年初登録で複数疾患 207例, 303疾患
 - 既登録で本年初発疾患 183例, 186疾患
- 3. 2004年の悪性疾患入院患者実数 3,923
 - ’03年以前の登録患者も含む
- 4. 2004年の入院加療悪性疾患患者延数 9,445
 - 同一年の再入院も含む
- 5. 2004年の総入院患者実数 5,152
- 6. 2004年の総入院患者延数 11,581

表2 悪性新生物疾患別数の推移(実数)

部位等 (ICD10)	2002年	2003年	2004年
口唇, 口腔および咽頭の悪性新生物 (C00~C14)	82 (51)	71 (45)	72 (44)
食道の悪性新生物 (C15)	122 (95)	158 (107)	185 (143)
胃の悪性新生物 (C16)	446 (365)	468 (388)	447 (372)
小腸の悪性新生物 (C17)	5 (4)	6 (5)	6 (5)
結腸の悪性新生物 (C18)	193 (157)	199 (156)	217 (181)
直腸, 直腸S状結腸移行部および肛門の悪性新生物 (C19~C21)	97 (77)	108 (80)	123 (97)
肝および肝内胆管の悪性新生物 (C22)	74 (47)	61 (32)	75 (34)
胆嚢および肝外胆管の悪性新生物 (C23,C24)	29 (17)	52 (40)	52 (35)
膵の悪性新生物 (C25)	73 (51)	73 (50)	79 (58)
その他消化器および腹膜の悪性新生物 (C26,C48,C45.1)	9 (4)	8 (3)	5 (3)
咽頭の悪性新生物 (C32)	56 (42)	53 (35)	47 (28)
気管, 気管支および肺の悪性新生物 (C33,C34)	528 (353)	540 (343)	601 (409)
その他呼吸系および胸腔内臓器の悪性新生物(C30,C31,C37~C39,C45.0,C45.2)	22 (14)	22 (14)	23 (16)
骨および関節軟骨の悪性新生物 (C40,C41)	13 (6)	16 (6)	9 (3)
皮膚の悪性新生物 (C43,C44,C46)	49 (43)	58 (44)	90 (79)
乳房の悪性新生物 (C50)	366 (230)	483 (332)	525 (358)
結合組織およびその他の軟部組織の悪性新生物 (C47,C49)	23 (9)	19 (12)	15 (7)
子宮頸の悪性新生物 (C53)	59 (52)	86 (64)	118 (96)
その他子宮の悪性新生物 (C54,C55)	42 (27)	51 (33)	74 (57)
その他女性生殖器の悪性新生物 (C51,C52,C56~C58)	76 (46)	70 (42)	98 (54)
前立腺の悪性新生物 (C61)	149 (123)	242 (211)	253 (227)
膀胱の悪性新生物 (C67)	123 (70)	142 (73)	158 (87)
腎および腎盂の悪性新生物 (C64,C65)	82 (66)	82 (58)	95 (74)
その他の泌尿生殖器の悪性新生物(C60,C62,C63,C66,C68)	27 (21)	35 (28)	40 (30)
脳の悪性新生物 (C71)	4 (2)	7 (6)	5 (1)
その他および部位不明の悪性新生物 (C69,C70,C72~C80)	87 (57)	110 (75)	136 (110)
再掲 [甲状腺 (C73)]	62 (44)	74 (53)	90 (76)
白血病 (C91~C95)	84 (47)	91 (43)	106 (58)
その他リンパ組織および造血組織の悪性新生物 (C81~C85,C88,C90,C96)	165 (89)	182 (81)	194 (105)
上皮内癌 (D00~D09)	53 (49)	68 (70)	75 (75)
計	3,138 (2,214)	3,561 (2,476)	3,923 (2,846)

() 悪性疾患登録数

表 3 悪性新生物の年別推移 (実数)

	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年
悪性新生物 %	2,535 50.15	2,742 53.22	2,918 54.82	2,843 55.18	3,138 58.51	3,561 62.30	3,923 66.30
全疾患	5,055	5,152	5,323	5,152	5,363	5,716	5,917

表 4 診療科別入院患者悪性疾患比 (延べ数,重複あり,死亡・剖検は実数)

診療科	悪性疾患患者 (%)	入院患者数	死亡数		剖検数	
			悪性	総数	悪性	総数
内科	2,716 (81.5)	3,331	237	261	18	18
神経内科	1 (2.2)	46	-	2	-	-
小児科	385 (94.6)	407	6	6	3	3
耳鼻咽喉科	236 (78.4)	301	18	18	-	-
外科	3,598 (96.1)	3,744	105	108	-	-
呼吸器外科	441 (91.7)	481	10	10	-	-
整形外科	79 (18.6)	424	5	5	-	-
心臓血管外科	- (-)	2	-	-	-	-
脳神経外科	64 (64.0)	100	6	6	-	-
麻酔科	4 (100.0)	4	-	-	-	-
眼科	- (-)	98	-	-	-	-
皮膚科	137 (78.3)	175	2	2	-	-
泌尿器科	723 (70.6)	1,024	34	35	1	1
婦人科	847 (77.6)	1,092	19	19	-	-
産科	- (-)	134	-	-	-	-
放射線科	214 (98.2)	218	6	6	-	-
合計	9,445 (81.6)	11,581	448	478	22	22

表 5 診療科別・在院期間別・性別・退院患者数

科 別	在院期間別 性別	総数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6月	6月-1年	1-2年	2年-	平均在院日数
			総数	男	5098	1785	1254	823	419	563	172	74	8
	女	6483	3953	1164	556	293	351	96	67	3	-	-	12
内科	男	2039	741	453	313	184	223	84	37	4	-	-	20
	女	1292	623	233	180	106	96	35	18	1	-	-	16
神経内科	男	24	6	6	2	2	3	3	2	-	-	-	32
	女	22	6	3	3	5	2	1	1	1	-	-	34
小児科	男	263	149	24	13	23	35	10	8	1	-	-	21
	女	144	57	11	16	19	24	11	6	-	-	-	26
耳鼻咽喉科	男	187	19	54	25	20	32	29	7	1	-	-	34
	女	114	9	71	13	3	9	7	2	-	-	-	21
外科	男	792	154	277	167	86	84	18	5	1	-	-	19
	女	2952	2451	292	97	55	45	5	7	-	-	-	5
呼吸器外科	男	335	36	85	162	31	15	3	2	1	-	-	20
	女	146	14	42	77	8	1	4	-	-	-	-	17
整形外科	男	204	33	58	40	23	37	9	4	-	-	-	25
	女	220	39	48	31	29	60	8	5	-	-	-	27
心臓血管外科	男	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	6
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
脳神経外科	男	73	9	20	15	11	14	4	-	-	-	-	24
	女	27	6	4	4	2	9	2	-	-	-	-	27
麻酔科	男	4	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	7
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
眼科	男	48	34	12	-	1	1	-	-	-	-	-	8
	女	50	23	24	2	1	-	-	-	-	-	-	9
皮膚科	男	86	23	51	6	3	3	-	-	-	-	-	12
	女	89	26	50	7	1	4	1	-	-	-	-	12
泌尿器科	男	875	543	191	61	31	33	8	8	-	-	-	10
	女	149	60	40	18	12	17	1	1	-	-	-	15
婦人科	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1092	533	315	95	44	56	21	27	1	-	-	15
産科	男	15	14	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	女	119	95	21	2	-	1	-	-	-	-	-	7
放射線科	男	151	20	20	19	4	83	4	1	-	-	-	33
	女	67	11	10	11	8	27	-	-	-	-	-	26

表6 2004年病類別（大分類）在院日数別患者数

疾病大分類	在院日数	計	1～7日	～14日	～1月	～3月	～6月	～9月	～12月	～2年	2年～	平均在院日数
合計		11,581	5,399	2,465	2,331	1,234	141	6	5	-	-	14.7 (171,227)
I 感染症および寄生虫症		65	20	23	17	5	-	-	-	-	-	13.9 (909)
II 新生物		9,863	4,661	2,018	2,005	1,039	131	4	5	-	-	14.7 (145,790)
III 血液および造血管の疾患 ならびに免疫機構の障害		21	8	3	4	5	1	-	-	-	-	28.6 (601)
IV 内分泌、栄養および 代謝疾患		47	11	15	18	3	-	-	-	-	-	14.8 (699)
V 精神および行動の障害		7	5	-	2	-	-	-	-	-	-	7.0 (49)
VI 神経系の疾患		29	12	6	6	4	1	-	-	-	-	21.2 (616)
VII 眼および付属器の疾患		95	51	38	5	1	-	-	-	-	-	8.6 (822)
VIII 耳および乳様突起の疾患		3	1	1	1	-	-	-	-	-	-	13.0 (39)
IX 循環器系の疾患		186	64	34	57	27	3	1	-	-	-	19.9 (3,718)
X 呼吸器系の疾患		151	43	51	39	18	-	-	-	-	-	16.0 (2,424)
XI 消化器系の疾患		246	66	91	62	27	-	-	-	-	-	15.5 (3,830)
XII 皮膚および皮下組織の 疾患		37	10	23	4	-	-	-	-	-	-	9.7 (359)
XIII 筋骨格系および結合組織 の疾患		162	15	23	54	67	3	-	-	-	-	31.5 (5,113)
XIV 尿路性器系の疾患		372	280	66	20	4	2	-	-	-	-	6.0 (2,249)
XV 妊娠、分娩および 産じょく<褥>		108	70	37	-	1	-	-	-	-	-	7.1 (768)
XVI 周産期に発生した病態		30	25	3	2	-	-	-	-	-	-	4.5 (136)
XVII 先天奇形、変形および 染色体異常		9	1	5	1	2	-	-	-	-	-	19.4 (175)
XVIII 症状、徴候および異常臨床所見・異常 検査所見で他に分類されないもの		40	21	7	10	2	-	-	-	-	-	10.6 (424)
XIX 損傷、中毒および その他の外因の影響		93	19	21	23	29	-	1	-	-	-	25.9 (2,410)
XX 傷病および死亡の外因		1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	21.0 (21)
XXI 健康状態に影響をおよぼす要因 および保健サービスの利用		16	16	-	-	-	-	-	-	-	-	4.6 (75)

() 延日数

良性平均在院日数 14.0 (総日数 29,807)

悪性平均在院日数 15.0 (総日数 141,420)